



# せたがや区議会だより

No.201

平成17年(2005年)7月14日  
発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27  
TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030  
http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

## 福祉のいえ・まち推進条例を改正する条例などを可決

## 第2回 定例会



ふれあい農園でのじゃがいも掘り (用賀小学校3年生)

### 議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から27件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。また、議員の派遣も決定しました。そのほか、農業委員の推薦も行いました。

#### ● 条例の改正 20件

##### ○ 手数料条例

賛成 〇 良民、区民連、公明、政策、共産、新保守、虹、無所属  
反対 〇 無党派

戸籍事務の電算化に伴い、戸籍等の証明手数料を新設する。

##### ○ 区税条例

賛成 〇 良民、区民連、公明、政策、共産、新保守、虹、無所属  
反対 〇 共産、無党派

地方税法等の改正によるもの。

##### ○ 区民斎場条例 (全員賛成)

##### ○ 区民会館条例 (全員賛成)

##### ○ 区民センター条例 (全員賛成)

##### ○ 厚生会館条例 (全員賛成)

##### ○ 老人会館条例 (全員賛成)

##### ○ 老人介護ホーム条例 (全員賛成)

##### ○ 身体障害者デイサービスセンター条例 (全員賛成)

##### ○ 区営住宅管理条例 (全員賛成)

##### ○ 特定公共賃貸住宅条例 (全員賛成)

##### ○ 高齢者借上げ集合住宅条例 (全員賛成)

##### ○ 総合運動場条例

##### ○ 千歳温水プール条例

賛成 〇 良民、区民連、公明、政策、共産、新保守、虹、無所属  
反対 〇 反政、無党派

##### ○ 地域体育館・地区体育室条例 (全員賛成)

##### ○ 以上13件は、指定管理者の指定

##### ○ 公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

の継続や指定管理者が行う業務の範囲等を定めた。

##### ○ 在宅介護支援センター条例 (全員賛成)

奥沢在宅介護支援センターの位置を奥沢2-23-1に変更する。

##### ○ 公園条例 (全員賛成)

中町二丁目北公園(中町2-22-15)を新設した。

##### ○ 福祉のいえ・まち推進条例 (全員賛成)

ハートビル法に基づく建築物のバリアフリー整備の義務化を規定することなど。

##### ○ 子育てファミリー借上げ住宅条例 (全員賛成)

管理の委託を廃止することなど。

##### ○ 自転車条例

賛成 〇 良民、区民連、公明、政策、共産、新保守、虹、無所属  
反対 〇 共産、無党派

##### ○ 経堂北、成城東自転車等駐車を廃止する。

##### ● 包括外部監査契約の締結 1件 (全員賛成)

17年度の包括外部監査契約を締結した。

##### ● 工事請負契約の締結 2件

○ 総合運動場体育館大規模改修工事

賛成 〇 良民、区民連、公明、政策、共産、新保守、虹、無所属  
反対 〇 反政、無党派

契約金額 〇 三億九千万円

工事概要 〇 体育館、鉄筋コンクリート造 地下2階、地上2階建(改修及び耐震補強、会議室兼軽運動室及び倉庫の増築)

○ 仮称経堂図書館新築工事

賛成 〇 良民、区民連、公明、政策、共産、新保守、虹、無所属  
反対 〇 反政、無党派

契約金額 〇 二億九一九〇万円

工事概要 〇 鉄骨造平屋建(一般開架スペース、子どもコーナー、インターネット端末閲覧コ

1、インターネット端末閲覧コ

6ページへ続く

# 問 質 表 代

## 自由民主党世田谷区議員

小畑 敏雄議員

### 今後2年間の区政運営の基本姿勢

**質問** 区長は、魅力あふれる安全安心のまちを目指す新基本計画を策定した。任期の折り返しに当たり、計画の着実な実現に向けた区政運営の基本的な姿勢を示せ。

**区長** 予防型行政への転換を進め、機動力のある区政運営に取り組む。

### 砧支所庁舎の早急な整備

**質問** 砧支所庁舎と砧区民会館のバリアフリー化や耐震化などが喫緊の課題だ。駅周辺街づくり事業への国の交付金を活用するなど、工夫して取り組み。

**砧支所長** まちづくり交付金の活用を図りながら整備を進めたい。

### 総合的な災害対策条例の制定

**質問** 災害から区民の生命や財産を守る総合的な対策が必要だ。災害対策総点検の結果を踏まえ、地震や大雨による災害の予防から復興に至る対策を条例で定めよ。

**区長** 総合的な災害対策を構築し、早期制定に積極的に取り組む。

### 耐震関連事業の着実な実施

**質問** いつ起こるか分からない大地震への区民の関心が高まる中、区は耐震関連予算を大幅に増額した。今後は各事業を着実かつ迅速に実施し、区民の期待にこたえよ。

**都市整備部長** 区民への事業周知を図り、計画的に進める。

### 中小企業支援の新たな仕組み

**質問** IT産業の台頭など、産業構造は時代とともに変化している。区内産業の活性化に向け、中小企業に対して時代の変化に応じた支援を行う新たな仕組みを構築せよ。

**産業振興部長** 効果的な支援を目指し、18年度に新財団を設立する。

### 健康づくりに関する条例の制定

**質問** 介護保険など福祉の支援には民間も参入し、サービス水準も向上した。今後は、区民の健康づくりに関する条例を制定し、予防型行政へ移行する区の姿勢を示せ。

## 区長 条例制定も視野に入れ、健康でやすらぎのあるまちを目指す。多世代子育て施策の展開

あべ 力也議員

### 子育てに関する高齢者の豊かな経験や知識を子育て世代が受け継ぐことが大切だ。多世代が交流できる子育て施策を展開し、地域で子どもを育てる環境をつくれ。

**子ども部長** 地域での子育て支援に有意義な多世代交流を進める。

**都市計画公園や緑地の整備方針** 都市の公園や緑地は、区民が身近な所で緑を感じられる貴重な場所だ。都市計画決定後も未整備の箇所について、整備推進に向けた方針を早急に策定せよ。

### 都市整備部長 区民の意見を聞き、17年中に取りまとめる予定だ。

**地籍調査の推進** 地籍調査で土地の権利関係を明確にすることは、土地取引の円滑化につながり、地域経済の活性化にも有効だ。都の補助制度を活用し、調査のペースを上げよ。

**道路整備部長** 執行体制の検討や、補助金の有効活用を図り進める。

### 学校改築の新たな方針の策定

**質問** 子どもの教育環境の向上が課題だ。学校改築のスピードアップに向け、改築経費の抑制や環境への配慮など、具体的な方針を策定して計画的に進めよ。

**教育改革部長** 関係者の意見を聞き、新たな整備計画を策定する。

### 武道の振興

**質問** あいさつの習慣や、他人を敬う姿勢を身につけるには、武道を通じて礼儀を学ぶことが有意義だ。区内公共施設の有効利用を図るなど、武道の振興を支援せよ。

**生涯学習部長** 今後も武道施設を充実させる方向で検討する。

### 他都市との交流の活性化

**質問** 合併で宮古島市となる予定の沖縄県平良市は、区と40年余の沖縄県平良市は、区と40年余の間、友好関係を築いてきた。市民交流が一層盛んになるよう、区の指定保養施設の事業対象に加えよ。

**生活文化部長** 提案も踏まえ、区民ニーズに沿った施設選定を行う。

## 民主党・生活者ネット・社民党 世田谷区民連合

あべ 力也議員

### 行政改革の強力な推進

**質問** 国は行革の新たな指針で、首長のリーダーシップの重要性を指摘した。区は8年間で700名の職員削減などを行ったが、区長はさらなる行革の推進に全力を挙げよ。

**区長** 区民の信頼を得られるよう、内部改革の徹底などに取り組む。

### 職員の特殊勤務手当の見直し

**質問** 区は土日勤務を伴う図書館などで特殊勤務手当を支給している。公務員の厚遇が指摘される中、区民が納得できるよう見直し。

**助役** 個々の業務の特殊性を精査し、特殊勤務手当を見直す。

### 指定管理者選定での透明性の確保

**質問** 区施設を管理する指定管理者は、区民にわかりやすい手続で選定されるべきだ。過程の公表など十分な透明性の確保に努めよ。

**政策経営部長** 審査基準の公表や選定委員の外部登用などを行う。

### 公共工事の入札監視委員会の設置

**質問** 国などでは公共工事の談合が後を絶たない。入札制度の透明性をさらに高めるため、区も第三者による監視委員会を設置せよ。

**区長** 財務部長 先行事例を十分調査し、設置を検討していく。

### 透明性の高い区政の実現

**質問** 公務の公正性を担保する仕組みづくりが必要だ。公職にある者などが要求の実現を行政に求める口ききを公表する制度を設けよ。

**財務部長** 今後も説明責任を果たしながら、適切に業務を執行する。

### 高齢者のショートステイの拡充

**質問** 高齢者が在宅介護を支えるショートステイの不足が深刻だ。特区制度を活用し、認知症グループホームに併設するなど拡充せよ。

**在宅ケア部長** ショートステイの一層の充実に向けた検討を進める。

### 障害者の親亡き後対策の推進

**質問** 障害者の自立支援では、親亡き後対策が大きな課題だ。区は、新たなノーマライゼーションプランにどのような位置づけるのか。

**在宅ケア部長** 重要課題と位置づけ、自立を支える基盤整備を図る。

### 災害対策条例の制定

**質問** 震災復興への十分な備えが必要だ。生活復興や都市復興に関する考え方や手順を検討し、制定予定の災害対策条例に反映させよ。

**区長** 災害対策総点検の結果を踏まえて、条例制定に取り組む。

### 食育のさらなる推進

**質問** 子どもの成長における食の重要性を明確に位置づけた食育基本法が成立する。区も教育ビジョンに基づき、食育を一層推進せよ。

**教育長** 教員に対する研修や区内大学との連携などを工夫していく。

### 水辺環境の再生

**質問** 水辺は都市に潤いを与える貴重な空間だ。暗渠化した河川の復元や親水護岸の整備など、水と触れ合える環境の再生に力を注げ。

**道路整備部長** 都と連携し、潤いある水辺環境の整備に努める。

### 公明党世田谷区議員

長谷川 義樹議員

**職員の特殊勤務手当の見直し** 公務員の厚遇問題や人件費抑制を求める国の提言など、公務員制度の改革は必然の流れだ。区も特殊勤務手当のあり方を改めて見直し、強力で改革を進めよ。

**助役** 業務の特殊性を十分精査し、見直しに取り組む。

### 職員の福利厚生のあり方

**質問** 区職員は区の職員互助会と23区の職員互助会から給付を受けている。公費が両互助会に投入され、税金の二重取りと指摘される現状を、区は率先して見直し。

**区長** 政治家としての信念に基づき、改革に取り組む。

### 外郭団体改善の方向性

**質問** 多くの区施設を管理する区の外郭団体が、指定管理者制度で3年間の指定を受けることは団体の経営改善の先送りだ。団体に改

## 革意識を持たせ、改善を急がせよ。助役 団体に改善方針に沿った3カ年の改善計画づくりを要請した。

外郭団体の統合による成果

### 外郭団体の統合による成果

**質問** トラスト協会と都市整備公社の統合が外郭団体改善方針で示された。人員削減や自然環境の保全促進など、着実な成果を上げるため、どう取り組んでいくのか。

**助役** 自然的環境や景観を総合的にとらえたまちづくりを強化する。

### 経堂駅前の区立図書館の運営形態

**質問** 経堂駅前に区立図書館が新設される。指定管理者制度を導入し、民間の創意工夫を生かして、区民ニーズへの柔軟な対応やコスト削減を実現できる運営を行え。

**教育長** 効率的な運営に向け一部業務の外部委託化を検討している。

### ピオトープのネットワーク化

**質問** 良好な自然環境を保全するには、生態系の復元が不可欠だ。ピオトープをネットワーク化し、世田谷に自然環境を取り戻せ。

**都市整備部長** みどりの基本計画でネットワーク形成を位置づけた。

### 災害対策条例の制定

**質問** 区長は、招集あいさつで災害対策に関する条例の必要性を述べた。予防、復旧、復興など災害対策に全庁を挙げて効果的に取り組める実効性ある条例を制定せよ。

**区長** 条例制定も含め総合的な対策の構築に向けて取り組む。

### 介護予防プログラムのあり方

**質問** 高齢者一人ひとりの状態に応じた介護予防を一層進めるべきだ。都が開発した予防健診の仕組みを参考に、区も効果的な予防プログラムを積極的に取り入れよ。

**保健所長** 生きがいと楽しみを持ち生活できるプログラムを目指す。

### 区内の芸術家や文化人の登用

**質問** 文化都市世田谷としての魅力を高める取り組みを強化すべきだ。文化振興による地域の活性化に向け、区にゆかりのある芸術家などを任期付職員として採用せよ。

**生活文化部長** 人事制度の活用については、今後も研究していく。

## せたがや政策会議

富永 早苗議員

### 職員の処遇決定への議会の関与

**質問** 区職員の処遇は23区統一の不透明な労使交渉によるものではなく議会で踏み込んだ議論を尽くし決められるべき。地方自治体としての自己決定権を確立せよ。

**区長** 助役 給与改定については、区議会での最終決定を得ている。

### ごみの最終処分場の延命化

**質問** 23区のごみを受け入れる最終処分場はあと30年で満杯だ。処分場は生活を支える重要な社会基盤であることを区民に周知し、ごみ減量を促すなど延命化を図れ。

**清掃・リサイクル部長** 23区、清掃事務組合、都が連携した行動が必要だ。

### 正確なごみ量の把握

**質問** ごみの減量活動をさらに推進するには、正確なごみ量に基づく清掃事業方針が必要だ。ごみの減量効果を区民に示すためにも、23区ごとのごみ量の把握に努めよ。

**清掃・リサイクル部長** 各区のごみ量の推計精度を高める手法を検討中だ。

### 最終処分場から考える清掃問題

**質問** ごみの減量活動の必要性を区民に強く訴えるべきだ。最終処分場の現状を広く周知し、清掃問題への区民意識を高めよ。

**清掃・リサイクル部長** 情報を効果的に提供し、ごみの減量を促進したい。

### 学校の安全対策の強化

**質問** 学校の教職員に安全対策のすべてを任せることは困難だ。確実に学校の安全を守るため、民間警備員の全日配備で対応せよ。

**教育長** 多様な手法で、さらなる安全対策の強化を図っていく。

### 学校警備職員の人件費の適正化

**質問** 学校警備職員の給与は、休日夜間の勤務で比較すればアルバイトの約4倍だ。正規職員の必要性や費用対効果を検証し、区民の理解が得られるよう改善せよ。

**教育次長** 正規職員にかえ、非常勤や臨時職員による体制とする。

6月8日及び9日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

代表質問、一般質問の様子はホームページでごらんいただけます  
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>  
**議会中継**をクリック!

日本共産党世田谷区議員

岸 武志議員

平和に向けた取り組み

**質問** 広島市長が世界各都市に呼びかけてきた平和市長会議が、20年までの核兵器廃絶を求めて行動している。全国市長会も支持しているが、区長の見解を示せ。  
**区長** 平和都市宣言を行った区として、多様な事業を実施している。介護保険料の負担軽減

介護保険料の負担軽減

**質問** 税制改正で高齢者の住民税非課税措置の廃止などが行われる。新たに課税対象となることで介護保険料区分が上がり、大幅な負担増となる高齢者への対策を講じよ。  
**保健福祉部長** 国の激変緩和措置の内容を把握し、適切に対応する。基本健診の無料実施の継続

基本健診の無料実施の継続

**質問** 区民の健康を守ることは区の責務だ。区は、基本健診などの有料化を検討しているが、区民が基本健診の受診を控えることのないよう無料実施を続けよ。  
**保健所長** 負担が困難な区民にも配慮し、一部自己負担を検討する。小児救急体制の充実への取り組み

小児救急体制の充実への取り組み

**質問** 小児救急医療の不足は深刻だ。区は、区内医療機関に休日・全夜間診療事業への参加を求めるとしたが、進捗状況を示せ。  
**保健福祉部長** 参画可能な医療機関の情報を都などと共有している。地震に強いまちづくり

地震に強いまちづくり

**質問** 区が住宅の耐震補強補助などを予算化したことは評価するが、対象件数が少ない。旧耐震基準の木造建物7万2千棟すべてを視野に入れ、耐震化を本格的に進めよ。  
**区長** 災害に強いまちづくりに向け、最善の努力を払っていく。区立校の耐震化促進

区立校の耐震化促進

**質問** 学校は子どもの生活の場であり、高い安全性を要する。区は2年間で全校の耐震診断を終えるが、必要な補強工事は迅速に行え。  
**教育次長** 耐震性能が不足する場合には、速やかに工事に着手する。

一 般 質 問

6月9日及び10日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

羽田 圭一議員 (区民連)

**校庭の安全性と快適性の確保**  
**質問** 小中学生にとって休憩時間の校庭での運動は欠かせないが、区立校の中には校庭が荒れて運動に支障が出ている学校がある。現状を把握し、計画的な改修を行え。  
**答弁** 校庭の傷み具合など各校の実情に合わせて、柔軟に対応する。  
**児童の虫歯予防の推進**

保健所の統計では、虫歯罹

**質問** 保健所の統計では、虫歯罹患率は幼年期に比べ小学校の学年が上がるほど高くなっている。児童の健康な学校生活を支えるため、保護者を啓発し虫歯予防に努めよ。  
**答弁** 保護者に対し、歯磨き習慣などの啓発活動を引き続き行う。  
**保存樹木の保全対策の強化**

緑の減少に歯どめをかける

**質問** 緑の減少に歯どめをかけるべきだ。建物の建てかえや土地の売却に伴う保存樹木の指定解除の抑制や、新たな所有者による樹木の伐採回避に有効な対策を講じよ。  
**答弁** みどりの基本条例に基づき要請などにより、保全に取り組む。

吉田 恵子議員 (区民連)

**学校給食での食農教育の実践**  
**質問** 食に関する理解を深める食育の取り組みを一層推進すべきだ。区内の農地を活用し、学校給食の食材の生産過程を体験させる食農教育を全区立校で実践せよ。  
**答弁** 栄養士研修などで普及啓発を図り、全区展開に向け取り組む。  
**高次脳機能障害者への支援**

高次脳機能障害者の基本的

**質問** 高次脳機能障害者の基本的生活習慣の再構築には、長期に及ぶ継続した支援が必要だ。受け入れ拠点の増設や多方面の専門家との連携を通じた支援策を充実せよ。  
**答弁** 当事者や家族などと連携し、自立支援に向けた対応を進める。  
**移送サービスの配車センター開設**

区はリフト付タクシー事業

**質問** 区はリフト付タクシー事業の契約台数を増やしたが、効率的な運行を工夫すべきだ。需要と供給を調整する配車センターを設け、利用者の利便性を向上させよ。  
**答弁** 事業者の供給可能量など実態を把握し、課題を明らかにする。

桜井 純子議員 (区民連)

**犯罪被害者支援の条例制定**  
**質問** 犯罪被害者に対しては、医療、福祉など具体的な支援が不可欠だ。被害者支援に関する取り組みを条例化し、区としての責務を果たしていく姿勢を明確にせよ。  
**答弁** 具体的な施策の検討の中で、条例の必要性についても検討する。  
**学校現場での個人情報保護の徹底**

学校現場での個人情報保護の取

**質問** 学校現場での個人情報の取り扱いには細心の注意が必要だ。教職員向けの個人情報取り扱いマニュアルを作成し、全区立校で同じレベルの適正な管理を徹底せよ。  
**答弁** 今後も、各校が個人情報の厳正な管理を行うよう指導する。  
**国勢調査でのプライバシー保護**

国勢調査では、調査項目が

**質問** 国勢調査では、調査項目が多岐にわたり、プライバシー情報の流出を懸念する人もいる。調査票の封入提出方式を導入するなど、区民の不安解消に万全を期せよ。  
**答弁** 区独自に提出用封筒を作成し、完全封入方式で調査を行う。

青空 こうじ議員 (無所属)

**育児不安解消に向けた取り組み**  
**質問** 児童虐待を未然に防ぐためにも、育児不安の解消が課題だ。子育て世代を対象とした調査結果から子育ての悩みを的確に把握し、不安解消に向けた施策を展開せよ。  
**答弁** 子育てカレッジの創設など、先駆的な取り組みを実施していく。  
**働くことに対する感謝の気持ち**

子どもが働き手に感謝する

**質問** 子どもが働き手に感謝する気持ちを持つことは、労働の価値の理解につながる。子育て世代が参加する事業を通じ、子どもに労働への感謝の心を身につけさせよ。  
**答弁** 労働を尊重する心を育てることに留意して事業を実施する。  
**体験型の長期合宿の実施**

子どもが日常を離れ、集団

**質問** 子どもが日常を離れ、集団生活や自然体験でまとまった時間を過ごすことは、社会性などを身につける上で有効だ。校外授業で体験型の長期合宿を実施せよ。  
**答弁** 他自治体の事例も研究しながら検討を進めていく。

鈴木 昌一議員 (自 民)

**総合型地域スポーツクラブの普及**  
**質問** 総合型地域スポーツクラブは、学校教育の中での子どもの体力向上にも役立つ。区立校の理解と協力を得て、総合型地域スポーツクラブの創設、育成に取り組み。  
**答弁** クラブの設立意義を各校に伝え、設置の実現に努める。  
**障害児の放課後対策の環境整備**

障害のある中高生の放課後

**質問** 障害のある中高生の放課後対策が課題だ。区は、障害児を対象としたデイサービスを1カ所所実施するが、身近な所でサービスを受けられるよう、拠点を増やせよ。  
**答弁** 基盤の確保を進め、地域で利用できるよう充実していきたい。  
**文化芸術振興条例の早期制定**

文化は世田谷の最も大切に

**質問** 文化は世田谷の最も大切にすべきブランドの一つだ。区の魅力向上につながる文化の振興を一層図るため、17年度中にも文化芸術振興条例の制定を実現せよ。  
**答弁** 制定時期を早めることも視野に入れ、準備を急ぎたい。

新田 勝己議員 (自 民)

**基本計画の目指すもの**  
**質問** 今までの基本計画は、区民の息遣いが伝わる、わかりやすい内容だったが、新たな基本計画では区民の視点や意見が見えにくい。区は新たな計画で何を指すのか。  
**答弁** 区民と協働し、魅力あふれる安全安心のまちを実現する。  
**区民に身近な地域行政の推進**

区は、地域行政制度の見直

**質問** 区は、地域行政制度の見直しを進めているが、区民の声が届きやすい体制づくりが重要だ。決定権限の強化を図るなど、区民に身近な総合支所体制を充実せよ。  
**答弁** 区民との信頼関係を重視し、新たな執行体制を確立していく。  
**区内業者の育成**

給食を提供している区施設

**質問** 給食を提供している区施設では、管理運営の民間委託後に、区内の食材業者が取引を打ち切られる例があると聞く。区内産業育成の観点から対策を講じよ。  
**答弁** 引き続き、区内業者の活用について理解を求めていく。

大場 康宣議員 (自 民)

**区施設の省エネルギー推進**  
**質問** 区は、不要な照明の消灯など、ソフト面から省エネに努めてきた。環境負荷の一層の低減に向け、小規模施設の省エネ改修など、ハード面の施策も実施せよ。  
**答弁** 省エネ効果が期待できる施設を選び、事前調査を実施する。  
**教員と学校のパワーアップ**

教員のやる気を一層引き出

**質問** 教員のやる気を一層引き出し、学校の質を高める工夫が必要だ。すぐれた授業の実践や取り組みを表彰するなど、教員の功績を認める仕組みをつくれ。  
**答弁** 教員の表彰制度と懸賞論文の募集を検討していく。  
**自動交付機のプライバシー保護**

出張所などで、証明書自動

**質問** 出張所などで、証明書自動交付機を操作する際、暗証番号などが周囲からのぞかれる不安がある。安心して利用できるよう、プライバシー保護の対策を講じよ。  
**答弁** 引き続き、のぞき見防止などの対策を強化していく。



食育の推進 (「ぱくぱく健康キッズ&タウン」成果発表会)

問

質

一

一

飯塚 和道議員(公明)
内部障害者への積極的な支援

内臓機能に障害のある人は、外見では判断しにくいいため、

生活の中で配慮に欠ける扱いを受

けることも多い。ハート・プラス

マークの普及を通じ、支援を図

れ。
答弁 広報紙などで積極的に紹介

し、理解の促進に努める。

三軒茶屋駅周辺のバリアフリー化

三軒茶屋駅周辺のバリアフ

リー化に区民はさまざまな期待を

寄せている。国や都との連携強化

による速やかな道路整備や、歩道

上の放置バイク対策なども進めよ。

答弁 区民の意見を反映した基本

構想を策定し、着実に取り組む。

既存の区施設のバリアフリー化

地区会館、区民集会所、出

張所などのバリアフリー化を進め

るべきだ。既存施設を対象にした

整備方針を策定し、だれもが安心

して利用できるように整備せよ。

答弁 ハード、ソフト両面で施設

のバリアフリー環境を整えていく。

中里 光夫議員(共産)
中小企業対策による商店街活性化

地域の核である商店街の存

続のかぎは、商店街を形成する各

商店の活性化だ。区は中小企業対

策費を増額し、店舗改装の補助な

ど個店への新たな支援策を講じよ。

答弁 総合的な中小企業支援の推

進に今後も取り組んでいく。

小田急への駅無人化中止の要請

小田急線の一部の駅では、

早朝の時間帯が無人化された。安

全確保を求める駅利用者の不安の

声を真摯に受けとめ、無人駅化を

やめるよう事業者に要請せよ。

答弁 安全性の確保については鉄

道事業の重要事項と認識している。

梅ヶ丘駅東側の緑道の分断解消

梅ヶ丘駅東側の北沢川緑道

と鉄道の交差する場所は、高架工

事後の今も緑道が分断されており

通行できない。一刻も早い通行開

始が望まれているが、時期を示せ。

答弁 供用開始の手続を行ってお

り、6月末には利用できる予定だ。

田中 優子議員(政策)
外郭団体の区からの自立の促進

指定管理者制度の趣旨は、

区施設の管理業務への民間活力導

入による、サービスの向上と経費

節減だ。新たに参入を希望する民

間事業者と区施設の管理を委託し

ている外郭団体とが対等に競える

よう、区職員の天下りを断つなど

外郭団体の区からの自立を促せ。

答弁 外郭団体改善方針に基づき、

各団体に改善を求めるとともに、

区の指導のあり方なども検討する。

世田谷美術館レストランの改革

美術館のレストランは、赤

字である上に評判も高くない。観

光の視点からも世田谷ブランドの

発信基地になりうる財産であり、

現状のまま放置しておくことは区

民感覚では理解できない。指定管

理者制度の導入を契機に、やる気

とセンスのある業者を選定せよ。

答弁 指定管理者制度の導入に際

し、レストラン活性化を盛り込ん

だ運営計画を定めるなど工夫する。

赤沢 雅彦議員(自民)
学校運営委員会への情報提供

地域運営学校では、地域の

団体の意向を学校経営に的確に反

映できるようにすべきだ。学校運

営委員会での実のある議論が行える

よう、必要な学校情報を提供せよ。

答弁 適切な活動を行えるよう、

必要な情報の提供や説明に努める。

学力テストの結果の公開

学校運営委員会が適切な判

断をするためには、各学校の学力

差の把握も重要だ。区全体の学力

向上を目指し、学校ごとの学力テ

ストの結果を公開せよ。

答弁 自校の分析結果を学校改善

に生かせるように取り組む。

個人情報保護法への適切な対応

個人情報保護法が施行され、

区民意識も高まっている。地域で

募金活動を行う団体に対して、法

の趣旨を説明し、募金者名簿の適

切な取り扱いを働きかけよ。

答弁 各団体が個人情報適切に

取り扱われるよう取り組む。

下山 芳男議員(自民)
屋内体育施設の増設

82万人の区民にとって、屋

内体育施設は不足している。健康

づくりの拠点や災害時の避難所と

しても屋内体育施設は必要である。

早急に増設を検討せよ。

答弁 地域スポーツの振興に向け、

区内公共施設を有効に活用する。

保育サービスの着実な推進

区はさまざまな保育サービ

スを提供しているが、待機児対策

や兄弟を別々の園に預けている事

例の解消など、依然として課題は

多い。解決に向けて着実に取り組

む。

答弁 安心してサービスを選択し、

利用できる環境の実現を急ぐ。

残虐ゲームソフトの有害指

テレビゲームには、残虐性

が高く子どもに悪影響を及ぼすも

もある。ゲームソフトやテレビ

番組の有害性の判断基準を定め、

該当する情報を保護者へ提供せよ。

答弁 都と連携し、保護者への適

切な情報提供のあり方を検討する。

桜井 征夫議員(区民連)
民間福祉施設などの連携強化

社会福祉事業団や民間福祉

施設は、区の福祉水準の向上の牽

引役として重要な役割を果たして

いる。福祉施策の一層の推進に向

け、連携や支援を強化せよ。

答弁 社会福祉基礎構造改革に的

確に対応できるよう支援していく。

社会福祉協議会への支援の強化

社会福祉協議会は、法的に

も地域保健福祉推進の中心的担

手となった。区は、効率化を目的

に外郭団体の改革を進めているが、

安易に見直しの対象とするな。

答弁 区民による地域福祉活動が

展開できるよう支援していく。

真の共生社会の実現

今後の福祉施策の展開では、

施設を必要としない共生の地域社

会を目指すべきだ。宮城県の施設

解体の取り組みに学び、世田谷型

地域保健福祉の実現に邁進せよ。

答弁 在宅で安心して暮らせる多

様なサービスの提供に取り組む。

すがや やよい議員(区民連)
家庭での省エネ行動の促進

京都議定書が発効し、家庭

での省エネ行動の重要性が一層増

している。楽しみながら取り組め

る工夫を取り入れ、家庭でのエネ

ルギー消費量の削減を促進せよ。

答弁 新エコライフ大作戦のもと、

省エネ行動の働きかけを強化する。

広報活動の一層の強化

区は、区民への広報活動を

さらに強化すべきだ。商店街や企

業に区報やリーフレットの配布協

力を求めるなど、より多くの区民

が情報を得られるよう取り組め。

答弁 さまざまな方策を駆使し、

区政情報の発信に努めていく。

学力調査結果の十分な活用

区立校では、基礎学力を

個々の能力に応じたペースで身に

小泉 たま子議員(政策)
地域のルールづくりへの支援

地域で自主的に決めたル

ールが暮らしの安心を支えてきた。

法律や条例では決められない、そ

れぞれの地域に合ったルールづく

りに、区は一定の役割を担え。

答弁 地区の特性に合うルールづ

くりは区民とともに取り組みたい。

コミュニティ支援事業の対

コミュニティ支援事業が開

始される。これまで地域に根づい

上川 あや議員(虹)
失語症者の居場所づくり

失語症はコミュニケーション

ン障害であり、当人の孤立感を和

らげる交流の場が不可欠だ。区内

の自主的活動を支援し、身近で安

心できる居場所の確保に努めよ。

答弁 当事者や家族会などと連携

し、居場所づくりを検討していく。

失語症者グループの養成

失語症は会話や読み書きに

障害があらわれ、社会参加に困難

を伴う。聴覚障害に対応する手話

通訳のように、対話を補佐する会

話パートナーの養成を区でも行え

答弁 区内の活動団体と連携しな

がら、人材の養成や啓発に努める。

災害時の聴覚障害者への支援

区の災害対策総点検では、

聴覚障害者への情報提供の手段が

関口 太一議員(区民連)
技術検討委員会の設置目的

等々力駅の地下化工事に伴

い、区は、地下水などへの影響に

対する環境配慮の手続を終えたが、

新たに技術検討委員会を設置した。

委員会の設置目的を明示せよ。

答弁 等々力渓谷などに影響を与

えない工法を検討している。

等々力駅地下化に対する住民意

まちの様相を大きく変える

等々力駅地下化工事には、地域住

民の同意が不可欠だ。区は、住民

アンケートで寄せられた不安の声

を十分把握し、事業者と調整せよ。

答弁 地域住民とともに魅力ある

安全安心のまちづくりを進める。

大井町線沿線住民への真摯な対応

大井町線沿線住民が等々力

駅地下化に対する質問書を区長に

# 一 般 質 問

高橋 昭彦議員(公明)

平山 八郎議員(自民)

栗林 のり子議員(公明)

谷 逸子議員(公明)

上島 よしもり議員(新保守)

下条 忠雄議員(反政党)

**子育てサロンへの一層の支援**

【質問】子育てサロンは、子育て世代が互いに悩みを語り合い、親子から成長していく子育て支援の場だ。施設の優先利用や活動の周知などを通じ、一層支援せよ。

【質問】広告やテレビで使われている日本語の乱れは著しく、理解に苦しむ言葉遣いが多い。文化都市世田谷を標榜する区は、日本語の美しさに着目し、日本語教育特区の認定を受けた。今後、実践していくことが大切だが、取り組みの内容を具体的に示せ。

【質問】ニート対策では、若者の自立に果たす家庭の役割が大き過ぎる。意識啓発や情報交換の場の提供など、保護者を対象とした取り組みも実施せよ。

【質問】教員免許を持つ栄養士が食に関する指導や給食の管理を行う、栄養教諭制度を国が創設。区は、制度の導入を都に要望し、子どもの食生活の改善に役立てよ。

【質問】区内の刑法犯認知件数が増加したとの警視庁の発表に、区民が不安を感じている。件数が顕著に減少した自治体もある中、区の防犯対策への評価を示せ。

【質問】区は古紙の処分をリサイクル協同組合に委託しているが、実際は株中田という問屋がやっている。昨年度新聞は、1キロ10円で売却しているのに区への納付額は2.1円。市場価格は概5.5円だから3.4円、総額450万円損をしている。ポツタクリ容認の区の責任は重大だ。

**高齢者と子育て世代との交流**

【質問】子育て世代を地域ぐるみで支援する仕組みづくりを進めるべきだ。子育て世代が地域の高齢者などの豊かな経験から学び、楽しく子育てできる施策を行え。

【質問】17年度は中学校の教科と小学校の教育内容、教材を主に検討し、パイロット校を定め検証する。

【質問】スクールカウンセラーが全区立校に配置されたが、今後は内容の充実が課題だ。親身に相談に応じられる体制の構築やカウンセラーの資質向上などに取り組み。

【質問】地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>を減らすには、個人や家庭でのエコライフ活動の一層の推進が重要。フォーラムの開催などを通じ、温暖化防止への区民意識を高めよ。

【質問】地域に根差した防犯活動を強化すべきだ。警察と連携してまちづくり出張所に防犯情報を集約し、職員一人ひとりが高い意識を持って安全安心の実現に取り組み。

【質問】納付額では、売却金額や必要経費の単価を毎月見直すこととし、区に報告させる仕組みだ。

**交通安全施設の整備促進**

【質問】区内の交通事故発生件数は依然多く、実効性ある対策が喫緊の課題だ。交通事故対策調査の結果を踏まえ、道路の危険箇所への交通安全施設の整備を急げ。

【質問】越した庁舎の配置、太陽光など自然エネルギーの活用による維持経費の抑制など、さまざまな角度から庁舎整備を検討せよ。

【質問】みどりの基本条例の施行を機に、常に緑を意識したまちづくりを実践すべきだ。樹木の保存を前提とした道路整備や工夫を凝らした緑の創出などに取り組み。

【質問】ヒートアイランド現象の緩和には、家庭での取り組みも重要。気化熱を奪い地表の温度を下げ、見た目にも涼しげな打ち水の実践を各家庭にも呼びかけよ。

【質問】住宅街を車が低速で走行すれば、交通安全対策だけでなく、防犯パトロール効果も期待できる。走行速度を強制的に低下させるような道路改良の実施を検討せよ。

【質問】と、警視庁。で、自民の都議選対策は失敗。祖師谷通りの危険性は私が再三指摘した。成城の危険箇所も住民が指摘。なのに熊本区長は、自民の区議、都議やその選挙母体の地元商店会、町会の方ばかりを向き、7月強行を目論んだ。失敗の責任を明確にせよ。

原田 正幸議員(自民)

佐藤 弘人議員(公明)

竹村 津絵議員(区民連)

木下 泰之議員(無党派)

新川 勝三議員(自民)

**憲法調査会報告書への区の見解**

【質問】衆参両院の憲法調査会から報告書が提出された。地方自治の章について多数の意見が挙げられている中で、特別区制度には触れられていない点をどう考えるか。

【質問】次代を担う子どもを安心して産み育てられる社会を築くべきだ。収入が不安定になりがちとなり親家庭に対し、就業支援を含めた総合的な支援策を展開せよ。

【質問】犬を飼っている割合は23区で世田谷区がトップだ。動物の避難計画なしでは、大きな混乱が生じる。都は「同行避難」を原則として、都が区の災害時動物対策は、項目として掲げ、検討している。

【質問】連立事業は莫大な税金を投入。国は、線路跡や高架下の公共利用を奨励するも、区に積極利用の姿勢なし。跡地の利用に係る鉄道事業者等との協定等はあるのか。

【質問】都市整備公社とトラスト協会の統合計画では、設立趣旨の違いから疑問の声もある。統合の課題や将来像を、両財団の活動に協力している区民などに明確に示せ。

**特別区の自治権拡充への取り組み**

【質問】特別区は特別地方公共団体に位置づけられ、一般市より権限が制約されている。特別区制度が憲法が保障する法の下の平等に反すると主張することも一考せよ。

【質問】子育て支援に民間企業を積極的に活用することも必要だ。機能が充実した子育て家庭専用の集合住宅の建設を、新たな育児支援型ビジネスとして誘導せよ。

【質問】区は獣医師会と災害時の動物救護活動の協定を結んでいるが、区側と被災者の調整役を担える団体との協力関係も重要だ。動物愛護団体なども協定を締結せよ。

【質問】下北沢・森蔵寺の富士塚は、江戸後期の民衆信仰の遺跡だ。富士参拝の往路で重要。文化継承なくして文化なし。寺は壊そうとしているが、区は保存を働きかけよ。

【質問】北鳥山の民間学生寮跡地の区の買収交渉は不調に終わった。今後は、乱開発を防ぐ強力な指導を行うなど、自然環境の保全を求め、緑豊かな環境を守っていく。

**刑法犯認知件数の公表方法の改善**

【質問】警視庁が公表した都内の刑法犯認知件数では当区が1位だが、人口を考慮せずに順位づけする方には疑問がある。人口比や面積比で比べるよう警視庁に提言せよ。

【質問】深刻化する子どもの心の病には、学校や行政などが連携し、継続したケアを行う環境づくりが必要だ。国の支援に加え、区も、よりきめ細かな支援策を打ち出せ。

【質問】遺伝子組みかえ作物の栽培防止

【質問】北鳥山の超高層住宅の敷地のうち、国道との接道部分4.58㎡の畦畔移転の瑕疵が認定され、所有権が国に移った。接道条件の総合設計制度適用無効を都に主張せよ。

【質問】区は、出張所が中心となつて、自主的なまちづくりやコミュニティ活動の支援を強化している。新たな事業を実施する。単年度事業ではなく、継続的支援を図れ。

【質問】警視庁は、一律には比較できないとの見解を示している。

【質問】保育園職員などへの研修や総合的な相談体制の検討を行う。

【質問】協定の締結を検討していく。

【質問】総合設計制度の適否は、都が判断する問題と考えている。

【質問】両財団の定期刊行物やホームページを利用し、周知を図る。



改修が始まる総合運動場体育館(大蔵4丁目)

# 第3回定例会では、決算を審査します。会期は9月中旬から10月中旬の予定です。

議決内容の続き

1 ナー、対面朗読室、事務室など

●指定管理者の指定 (全員賛成) 1件

二子玉川西多摩堤自転車等駐車場の指定管理者を指定した。

●特別区道路線の認定 (全員賛成) 1件

所在地	延長(m)
鎌田 4-60-17内 21-12	154・46

●特別区道路線の変更 1件

賛成多数 賛成=自民、区民連、公明、政策、反政、無党派、新保守、虹、無所属  
反対=共産

区分	所在地	延長(m)
新	池尻 4-461-134内 461-133内	61・68
旧	池尻 4-461-133内	84・69

●監査委員選任の同意 1件

賛成多数 賛成=自民、区民連、公明、政策、共産、新保守、無所属  
反対=無党派、虹

●議員の派遣 1件

永山 和夫 59歳 (新任)

●農業委員会委員の推薦 1件

## 議会日誌

閉会中に開催された委員会

- 5月24日(火) 議運
- 26日(木) 企画、区民、文教
- 27日(金) 福祉、都市
- 30日(月) 都市、分権、オウム、清掃、交通

6月1日(水) 議運

会期中の主な会議日程

- 6月8日(水) 本会議(代表質問)、議運
- 9日(木) 本会議(代表質問、一般質問)
- 10日(金) 本会議(一般質問、議案の付託、請願の付託)、議運
- 13日(月) 企画、区民、文教
- 14日(火) 福祉、都市
- 16日(木) 分権、オウム、清掃、交通
- 17日(金) 本会議(議案の議決、請願の付託)、議運

委員会名称

- 議運=議会運営委員会
- 企画=企画総務委員会
- 区民=区民生活委員会
- 福祉=福祉保健委員会
- 都市=都市整備委員会
- 文教=文教委員会
- 分権=地方分権・庁舎問題等対策委員会
- オウム=オウム問題・災害・防犯対策委員会
- 清掃=清掃・リサイクル対策委員会
- 交通=公共交通機関対策等委員会



新しく出されたもの  
●福祉保健委員会に付託 2件  
○保育室を東京の施策の一つとして位置付けるよう東京都への意見書に関する陳情  
○「障害」のある区民への公務員ヘルパー派遣継続を求める陳情

## 請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

●審議が終わったもの 1件

○成城学園駅南口バス停の移動と横断歩道の設置を求める陳情 (全員賛成)

「願意に沿うよう努力された」との意見を付けました。

賛成多数 賛成=自民、区民連、公明、政策、共産、新保守  
反対=反政、無党派、虹、無所属

区議会として、小畑敏雄議員(自民)、原田正幸議員(自民)、平山八郎議員(自民)を区長に對して推薦した。

## ご利用ください 区議会ホームページ

世田谷区議会では、より多くの皆さんに区議会の活動を知っていただくために、議会広報の充実に取り組んでいます。ホームページでは本会議と予算・決算特別委員会の生中継や録画中継も行っておりますので、ぜひご利用ください。

～主な掲載内容～

- 本会議などの生中継や録画中継
- 会議録の閲覧や検索
- 区議会議員の紹介
- 会議の日程
- 区議会のあらまし(会議の進め方や請願書の書き方) など

ホームページアドレス

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>



### 会派等の略称

自民	自由民主党世田谷区議団
区民連	民主党・生活者ネット・社民党
世田谷区民連合	世田谷区民連合
公明	公明党世田谷区議団
政策	せたがや政策会議
共産	日本共産党世田谷区議団
反政	反政・改革派
無党派	無党派
新保守	新保守
虹	レインボー世田谷
無所属	無所属

自由民主党世田谷区議団	16人
公明党世田谷区議団	11人
民主党・生活者ネット・社民党世田谷区民連合	10人
せたがや政策会議	4人
日本共産党世田谷区議団	3人
反政・改革派	1人
無党派	1人
新保守	1人
レインボー世田谷	1人
無所属	1人
合計	49人

(欠員3人)

●議員の失職  
関口太一議員(区民連)と山口拓議員(区民連)は、6月24日に東京都議会議員選挙に立候補したため、区議会議員を失職しました。この結果、区議会の会派等の構成は次のとおりになりました。

## 編集後記

○今定例会では、36名の議員が、震災対策の充実や緑の保全整備など、区政のさまざまな課題について質問を行いました。  
○区議会定例会は、3、6、9、11月の年4回開かれます。傍聴にお越しになり、直接会議をごらんになるのはいかがですか。また、本会議や予算・決算特別委員会の様子を、区役所第1、第3庁舎、総合支所、文化生活情報センター内の市民活動支援コーナーで生中継しています。

○本会議や、予算・決算特別委員会の質問、答弁などを記録した会議録は、区議会ホームページのほか、区立図書館や区政情報センターなどでごらんいただけます。  
○目の不自由な方のために、区議会だよりのテープ版を発行しています。お問い合わせでご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。  
○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。  
TEL(五四三三)一一一代表  
FAX(五四三三)三〇三〇

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録(8月下旬発行予定)をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所などに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。



整備が進む成城学園前駅西口広場

